

市民の安全で安心な生活確保のために

新たに消防総合庁舎を建設します

芦別消防署の新消防総合庁舎が、来年4月使用開始を目指して市内業者の工事により建設されます。その概要についてお知らせします。



芦別消防署消防総合庁舎の完成予想図



老朽化し手狭な現在の消防庁舎

◎芦別消防署消防総合庁舎の概要◎

建設地	芦別市本町42番地 (イエローグローブ芦別店隣)
敷地面積	8,478平方メートル
庁舎建物の内容	
庁舎棟	鉄筋コンクリート2階建+塔屋 延べ床面積2,256.27平方メートル
訓練副塔	鉄筋コンクリート3階建 延べ床面積67.73平方メートル
主な新たな施設等	災害情報作戦室、訓練施設、消防団本部・消防団第1分団・女性分団詰所、太陽光発電システム、出動準備室
建設工事スケジュール	
着工	平成27年3月
工事完了	平成28年1月下旬(予定)
使用開始	平成28年4月1日(予定)
総事業費(予定)	約10億7,000万円(うち建設工事費約8億9,500万円)

芦別市庁舎に隣接している現在の消防庁舎は、昭和44年に建設されたもので、耐震診断の結果、耐震化が必要とされましたが、近年の消防車両の大型化や消防救急無線デジタル化の整備等により、庁舎全体が狭くなり、耐震補強工事を行うとさらに狭くなるため、災害発生時の出動に支障を来たすおそれがあることから、新たな消防総合庁舎の建設を進めることとしました。平成25年2月に開催したまちづくり懇談会において、消防庁舎建設に係る総事業費の概算は約10億円とお知らせしました。

災害情報作戦室を設置

芦別消防署は、昨年4月に滝川地区広域消防事務組合に加入しました。これに伴い、今後は、あらゆる災害時の緊急事態に備えて、広域的連携も視野に入れた消防活動拠点としての役割が求められます。

これに対応して新たな消防総合庁舎には、災害時の指揮・指令拠点となる「災害情報作戦室」を設置します。

訓練施設充実と環境への配慮

消防職員は、万が一の災害、救急活動に備え、日頃からあらゆる場面を想定した訓練が欠かせません。新庁舎には高所訓練用の塔を設けるなど、訓練施設を充実させます。このほか、消防団本部、消防団第1分団、女性分団の詰所も同庁舎内に設けられます。

新消防総合庁舎は、高い耐震性能や太陽光発電システムを備えるなどの自家発電設備により環境にも配慮し、万が一の災害時には高い機能を適切に発揮し、市民の安全で安心な生活を確保します。